

作成日：2006 年 7 月 1 日

改訂日：2016 年 5 月 2 日

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

製品名 クロスG

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東 2 丁目 23 番 4 号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX 番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用（建築用クロス 等）

整理番号 NU-B001

2. 危険有害性の要約

重要な兆候及び想定される非常事態の概要

最重要危険有害性：

有害性： 製品や作業中に飛散したガラス繊維に触れると皮膚、目、喉や鼻などに一時的にかゆみや痛みを引き起こすことがあります。

物理的及び化学的危険性：

可燃性物質であり、着火源があれば燃える。

特定の危険有害性： 情報なし。

分類の名称（分類基準は日本方式）：分類基準に該当しない。

GHS 分類

皮膚腐食性/刺激性	区分 2	標的臓器／全身毒性(単回暴露)	
眼損傷/眼刺激性	区分 2B	気道刺激性	区分 3

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

- 皮膚刺激

クロスG

- ・ 眼刺激
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

<安全対策>

- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
- ・ ミスト・蒸気等の吸入を避けること
- ・ 保護手袋を着用すること
- ・ 取扱い後、よく手を洗うこと

<救急処置>

- ・ 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・ 気分が悪いときには、直ちに医師に連絡すること
- ・ 皮膚についた場合、大量の水と石鹸で洗うこと
- ・ 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること
- ・ 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること
- ・ 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・ 眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受けること

<保管>

- ・ 施錠して保管すること
- ・ 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること

<廃棄>

- ・ 内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 製品は混合物

化学名

一般名 防水材用クロス

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
Eーガラス	72	—	—	65997-17-3
エチレン酢酸ビニル共重合体	28	$(-CH_2CH_2)_n(CH_2CH)_n$ $ $ $COCH_3$	(6)-6	24937-78-8

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・ 清浄な水で10 回位うがいをして下さい。また、軽く鼻をかんで下さい。もし、鼻や喉にかゆみなどの異常が残るようであれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・ 絶対にこすらないで下さい。（皮膚に刺さった場合には、毛抜きで刺さったガラス繊維を折らないように注意して抜いて下さい。）
- ・ 最初、流水で洗い、次いで温水で石鹸で洗って下さい。
- ・ 入浴はガラス繊維を除去するのに効果があります。

目に入った場合：

- ・ 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・ 医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ吐き出させる。不快感が残るようであれば、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、大量の水が有効である。
- 特定の消火方法： 可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
- 消火を行う物の保護： ガラス繊維自体は不燃性ですが繊維上に加工した集束剤や表面処理剤は可燃です。燃焼すると炭酸ガスと一酸化炭素などの有害ガスを発生するので消火作業には呼吸器用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 必要に応じて、保護マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用する。
- 環境に対する注意事項： 屋外に散乱した場合は、風などで飛び、電線に絡み付く等の二次災害の発生となる恐れがあるため、速やかに集めて処分する。
- 除去方法： 袋などの入れ物に回収し、安全な場所に移す。
- 二次災害の防止策： 廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
- 技術的対策 吸い込んだり、眼、皮膚に出来る限り触れないようにする。
- 注意事項 周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。
- 安全取扱い注意事項 必要に応じて、保護マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用する。
- 保管：
- 適切な保管条件
- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
 - ・ 雨水や直射日光を避けるために防水シートで覆うこと。
- 安全な容器包装材料 特殊包装紙など。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策： 取り扱い場所の近くに手洗い・洗眼装置を設け、その位置を表示する。

管理濃度及び許容濃度：

成 分	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会(2005)	ACGIH(2005)
Eーガラス	－	設定なし	設定なし
エチレン酢酸ビニル共重合体	－	設定なし	10ppm 35mg/m ³

保護具

呼吸器用の保護具	必要に応じて防塵マスクを使用。（使い捨て式）
手の保護具	必要に応じて皮手袋。
目の保護具	必要に応じてゴーグルタイプ眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて静電気防止作業衣、安全靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状： 紙管等に巻いたガラス繊維。
 色： 白色。
 臭い： 特になし。

pH： 情報なし

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲：

情報なし。

融点： 840℃。

沸点： データなし。

引火点： 検出できない。

発火点： データなし。

爆発特性： データなし。

蒸気圧： データなし。

蒸気密度： データなし。

比重： 2.6

溶解性 溶媒に対する溶解性 水に不溶。

オクタノール／水分配係数：

データなし。

分解温度： データなし。

その他のデータ：

データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性： 情報なし。

化学的安定性： 常温、単独では安定である。

避けるべき材料： 水分類。

危険有害な分解生成物：

ガラス繊維自体は不燃性ですが繊維上に加工した集束剤や表面処理剤は可燃です。燃焼すると炭酸ガスと一酸化炭素などの有害ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性： 分類できない。

皮膚腐食性／刺激性： 区分2。職業暴露で機械的刺激により、強い刺激を生じた。これらの機械的刺激は一時的であり、5 μm以上の繊維との関連がある。また職場暴露で刺激性の皮膚炎も生じている。

眼に対する重篤な損傷性・刺激性：

区分2B。職場暴露で機械的刺激性が認められている。この機械的刺激は一時的であり、5 μm以上の繊維との関連がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：

分類できない。

生殖細胞変異原性： 分類できない。

発がん性： 区分外。IARC 区分3 日本産業衛生学会で3群に分類されている。

生殖毒性： 分類できない。

特定標的臓器／全身毒性－単回暴露：

区分3（気道刺激性）。職場暴露で一時的な気道刺激性が認められているが、暴露がなくなると消失する

特定標的臓器／全身毒性－反復暴露：

分類できない。ガラス長繊維は吸入の可能性がなく、また労働者の疫学調査においても健康への有意な悪影響は認められていないとの情報がある。

吸引性呼吸器有害性： 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性： データなし。

残留性／分解性： データなし。

生体蓄積性： データなし。

移動性： データなし。

13. 廃棄上の注意

廃材料、包装用紙等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国連分類： 設定されていない。

国連番号： 設定されていない。

国内規制： 設定されていない。

輸送の特定の安全対策及び条件：

取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

15. 適用法令

廃掃法

産業廃棄物、廃プラスチック類

16. その他の情報

主な引用文献

独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）ホームページG H S 分類結果データベース
原材料・製品メーカーのM S D S

ガラス長繊維の人体に及ぼす影響（硝子繊維協会1993 年3 月発行）

ガラス長繊維製品の取扱い説明書（硝子繊維協会1998 年8 月発行）

国際化学物質安全カード（I C S C）

製品安全データシートの作成指針（改訂版）日本規格協会(2001年10月)

日本工業規格 J I S Z 7253：2012G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

危険物船舶運送及び貯蔵規則14訂版海文堂

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
- (3) このデータシートは通常想定される保管方法および取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取り扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用下さい。
- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。